

第1回日本生理学会 100周年記念事業委員会 議事概要

日時：令和3年2月23日（火、祝）9：00～11：00（Zoom会議）

出席：丸中 良典（委員長）、伊佐 正、上田 陽一（事務局）、内田 さえ、尾野 恭一、尾松 万里子、酒井 秀紀、佐藤 達之、高橋 倫子、樽野 陽幸、西谷 友重、丸山 崇（事務局）、美津島 大、宮田 麻理子、渡辺 賢

欠席：石川 透、北澤 茂（敬称略）

1. 報告事項

（1）委員について…[資料 No. 1]

➤ 丸中委員長より報告があり、以下の修正を行った。

（修正）酒井 秀起→酒井 秀紀

（2）100周年記念事業委員会報告（令和3年3月27日理事会）… [資料 No. 2]

➤ 丸中委員長、上田委員、伊佐委員より資料 No. 2 に基づき、報告があった。

（3）編集広報委員会との連携：進捗状況報告… [資料 No. 2, 資料 No. 3]

➤ 上田委員より資料 No. 2 に基づき、進捗状況の報告と資料 No. 3 についての説明があった。

（4）その他

とくになし。

2. 審議事項

（1）100周年記念事業・第100回日本生理学会記念大会趣意書（案）…[資料 No. 4]

➤ 全体の枠組みについて、100周年記念事業と第100回記念大会で趣意書は一本化することとした。

➤ 組織委員会は全て記載することとした。

➤ 寄付金目標額：まずは伊佐先生提案の目標額とするが、今後、記念誌やアーカイブの規模や予算も確認の上で検討することとなった。

➤ コンベンション業者に記念事業も手伝ってもらえるかどうか、業者決定後確認する。

（2）100周年記念事業各事業の担当者について…[資料 No. 5]

以下のとおり、主となる担当者を決定した。

1. 日本生理学会 100周年記念誌発刊…担当：栗原先生、小西先生にお聞きしながら

ら、渡辺賢先生が橋渡しの役割

2. Japanese Journal of Physiology および 日生誌のアーカイブ化…担当：酒井秀紀先生（学会事務局がある程度整理している情報を渡辺先生からいただく）
 3. “学会の目指す方向” についてのメッセージ…担当：伊佐正先生（「日本生理学会京都宣言」、第 100 回大会としてお引き受けする）
 4. 生理学の学問としての立ち位置…担当：樽野陽幸先生
 5. 生理学の裾野を広げ、日本生理学会の会員増を目指す。…担当：西谷友重先生、内田さえ先生
1. 日本生理学会 HP トップページ…担当：上田陽一先生
 - c. グッズ作成：クリアファイル、ボールペン、トートバッグ、Tシャツなどについては検討中。…担当：佐藤達之先生
- * 日本医学会総会 2023 との連携の部分で、宮田麻理子先生にお願いする。医学会総会の横断的シンポジウムなどの企画のアイデアなどを参考に、本記念大会に提案する。
- * 第 100 回記念大会との連携での担当者については伊佐正先生と丸中良典先生で今後検討して委員に依頼を行う。

（3）その他

- 第 100 回記念大会は、オンサイトなのか、オンラインなのか、ハイブリッドなのか？→2023 年の状況も見てということになる。事業者選定にあたっては、できるだけ多様な提案をしていただくように依頼している。
- オンライン学会の際に、動画広告などを企業に依頼してはどうか？→大会運営の業者が決まり次第、立案したい。
- 免税措置について免税措置がある方が寄付が集まりやすい。→今後、大会運営の業者にも相談しながら趣意書に反映したい。
- 100 周年記念事業と第 100 回記念大会の名称について重複しないような名称を考えていただきたい。→わかりやすい略称を考えたい。
- 100 周年記念事業の事前準備金を学会本部に依頼してほしい。→理事長・副理事長会議及び理事会で提案する。
- 今後の 100 年について AI などの先進技術との融合を入れてはどうか？→工学系の会員にも広がる可能性がある。

3. その他

このあと、メールにて今回の議事概要（案）の確認をお願いします。